

12 倒産

倒産に関する相談は、1,254件で、前年度(1,908件)に比べて654件(−34.3%)の減少が見られる。

契約当事者の属性をみると、性別では「女性」が6割(64.2%)を占め、年代別では「30歳代」が22.9%、「20歳代」が21.6%が約2割を占めているが、「40歳代以上」のいずれの年代でもそれぞれ1割を占めている。

職業別では、「給与生活者」が47.0%、「家事従事者」が25.3%を占めている。

支払方法では、「現金払」が36.9%、「個品割賦」が26.8%を占めているが、前年度と比べ「個品割賦」が4.1ポイント増加している。

平均契約金額は「256万5千円」で、平均既払金額は「195万3千円」であった。

主な商品・役務でみると「エステティックサービス」、「預貯金・証券等」、「和服」、「外国語・会話教室」、「ミシン」の倒産に関する相談が多く寄せられた。また、「エステティックサービス」、「外国語・会話教室」では主として20～30歳代から、「預貯金・証券等」、「和服」では主に60歳以上の高齢者から多くの相談が寄せられた。(表-62)

表-62 倒産相談内容別件数

単位：件

項	目	18年度	17年度	項	目	18年度	17年度				
相	談 件 数	1,254	1,908								
性	男 性	428	702	信	現 金 払	463	790				
	女 性	766	1,148		用	他 の 前 払 式	69	51			
	団 体	41	33			供	不 明	174	279		
	不 明	19	25				与	小 計	706	1,120	
年	19 歳 以 下	10	55	支				自 社 割 賦	5	2	
	20 歳 代	237	363		払			信 用 供 与 有			
	30 歳 代	251	449			信		総 合 割 賦	14	40	
	40 歳 代	146	286				用	個 品 割 賦	336	433	
	50 歳 代	136	189					供	そ の 他	42	115
	60 歳 代	157	176						与	不 明	22
	70 歳 以 上	158	175			有				小 計	419
	不 明	159	215				そ			借 金 契 約	34
			の	不 明 ・ 無 関 係				95		130	
					平均契約金額(千円)		2,565	2,905			
職	給 与 生 活 者	516	715	平	均 既 払 金 額 (千 円)	1,953	2,237				
	自 営 ・ 自 由 業	95	120		主	エ ス テ ッ ク	103	94			
	家 事 従 事 者	278	486			商	預 貯 金 ・ 証 券 等	102	119		
	学 生	43	175				品	和 服	97	2	
	無 職	167	215					・	外 国 語 ・ 会 話 教 室	65	504
	そ の 他 ・ 不 明	155	197						役	ミ シ ン	56
			務								